

お知らせ

[ワクチン接種業務の支援を開始](#)
[COVID-19最新情報はこちら！](#)
[医師TOP](#)
[特設サイト](#)
[医療・介護経営 \(日経ヘルスケア\)](#)
[裁判官が語る医療訴訟の実像](#)
[約7割が高裁へ、医療訴訟の控訴率が高い理由](#)


裁判官が語る医療訴訟の実像

フォロー中

約7割が高裁へ、医療訴訟の控訴率が高い理由

2018/03/27

大島 真一 (徳島地家裁所長)

医療安全

医療訴訟

裁判官

控訴率

印刷

シェア0

1

ツイート

今回は医療訴訟の手続のうち「人証調べ」までのプロセスについてご説明しました。今回は、それ以降の鑑定から判決、和解に至るまでの手続を紹介します。

1 鑑定

裁判所において、医師や患者らから詳細に事情を聞く「人証調べ」をしても、原告・被告のいずれを勝訴させるかの心証を形成できない場合、当事者からの申し出により鑑定が行われることがあります。医療訴訟の鑑定人は、被告（医療機関）とは関係しない中立的な医師が裁判所により選任されます。

鑑定は、鑑定事項（たとえば、冠動脈バイパス手術を受けた患者に腸管壊死が生じ死亡した場合に、腸管壊死を疑って直ちに開腹手術を実施すべき義務があったといえるか、といった内容）について、その分野に詳しい医師1人を鑑定人に選任し、それまでに当事者双方から提出された書面や資料などに基づいて、書面で意見を述べてもらう単独書面鑑定が中心です。

一方で東京地裁では、鑑定人を3人選び、裁判所に来てもらって口頭で意見を述べる「カンファレンス鑑定」が、千葉地裁では3人の鑑定人がそれぞれ書面を作成する「複数書面鑑定」が採用されています。

鑑定人から鑑定書が提出された後、鑑定意見について不明な点などさらに意見を聞く必要がある場合には、「補充鑑定」が行われることもあります。補充鑑定の方法としては、鑑定人に書面ですらに意見を求める方法と、鑑定人に口頭で意見を求める方法があります。鑑定料は裁判所が決めますが、単独鑑定の場合50万～60万円が多く、鑑定をを求める側が予納しますが、最終的には判決により原告、被告のいずれが負担するかが決められます。

なお、当事者から、医師が作成した「意見書」が提出されることもあります。表題は提出する者によって異なり、「私的鑑定書」と呼ばれることもあります。

裁判所の鑑定の場合、中立的でその分野に詳しい鑑定人を選任するため、一般的には鑑定人の意見を記した「鑑定書」の内容は重視されます。これに対して、当事者が提出する「意見書」は、提出する側に添う意見が記載されていることも考えられ、慎重な検討が必要になります。もっとも、内容によっては、「意見書」が「鑑定書」よりも信用できるとされた事案もあります。

連載第1回で触れた大淀病院事件では、鑑定人として産科医と脳外科医を指定しました(複数の診療科にまたがる場合は、このように複数の鑑定人を選任することがあります)([関連記事：32年の裁判官生活で最も印象に残った医療訴訟](#))。ほかに、転送先の国立循環器病センターの医師からも事情を聞き、原告(患者側)からは産科医と脳外科医の意見書が提出されました。

Next 原告、被告とも「勝てる可能性がある」と考える >

1

2

>

シェア 0

1

ツイート

著者プロフィール

おおしま しんいち氏●1984年神戸大学法学部卒、司法修習生(38期)。京都地裁判事、大阪高裁判事、神戸大学法科大学院教授、大阪地裁判事などを経て、2017年徳島地家裁所長、2018年奈良地家裁所長、2020年2月より現職。大阪地裁では医療訴訟を扱う医事部の総括を務めた。『Q&A医療訴訟』(判例タイムズ社)などの著書がある。



連載の紹介

裁判官が語る医療訴訟の実像

医療訴訟が提起されたらどのようなプロセスを経て和解や判決に至るのか、個々の裁判に影響を与えるリーディング・ケース(重要判例)とは――。大阪地裁で医療訴訟を専門に取り扱った経験を持つ著者が、これまでの経験を踏まえ、医療訴訟の実像を分かりやすく紹介します。

フォロー中

忙しい先生の代わりに開業に必要なアレコレ集めました 『日経メディカル開業サポート』オープン!

「開業したいけど、何から手を付ければいい?」
「テナントではどんな物件があるの?」
「先輩開業医の経験談を聞きたい」今までこう思った経験はありませんか?

『日経メディカル開業サポート』では、開業までのスケジュールをセルフチェックできる「開業ToDoリスト」や、先輩開業医によるコラム、医師の開業意識調査結果など、これから開業される先生へ有益な情報満載でお届けしています。



お知らせ [ワクチン接種業務の支援を開始](#) [COVID-19最新情報はこちら!](#)

[医師TOP](#) > [特設サイト](#) > [医療・介護経営 \(日経ヘルスケア\)](#) > [裁判官が語る医療訴訟の実像](#)
[約7割が高裁へ、医療訴訟の控訴率が高い理由](#)



裁判官が語る医療訴訟の実像 フォロー中

約7割が高裁へ、医療訴訟の控訴率が高い理由

2018/03/27 大島 真一 (徳島地家裁所長)

[医療安全](#)
[医療訴訟](#)
[裁判官](#)
[控訴率](#)

[印刷](#)
[シェア0](#)
[0](#)
[ツイート](#)

2 判決と上訴

以上のような手続を経て、最終的に判決がなされます。各段階の手続に要する期間は図1の通りです。判決まで行くと32カ月程度を要することになりますが、和解で終わる事件もあるので、全事件を平均すると24カ月程度です。

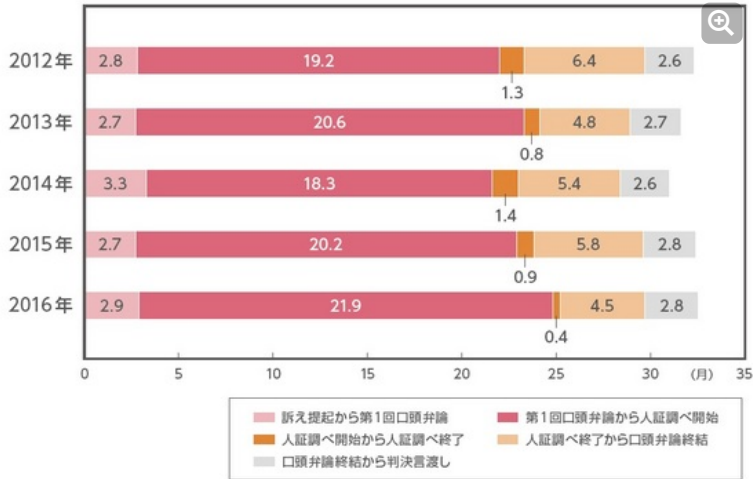


図1 医療訴訟における手続段階別の平均期間の推移 出典：最高裁事務総局「裁判の迅速化に係る検証に関する報告書」(2017年)

判決の内容については、このコラムで以前紹介したように、原告の請求が認められる割合は減少傾向にあり、2016年は20%を割り込みました。判決に不服のある当事者は、高等裁判所に控訴することができますが、その割合は2016年で68.3%と顕著に高く

分かります。

さらに、高等裁判所の判決に不満のある当事者は最高裁判所に上告できますが、最高裁判所が実質的に審理・判断するのは、重要な法律問題がある場合などに限られています。

3 和解

以上は判決に至るケースですが、和解で終わるものが医療訴訟では多く、約50%と半数を占めています。

和解を試みる時期としては、争点整理手続の終わりごろと人証調べ後が多くなります。裁判所が一定の心証を持ちつつ和解を進めることが結構ありますが、当事者の一方の心証と合致せず、和解が成立しないことも少なくありません。

医療訴訟において、当事者が双方とも勝訴できると思っていれば、裁判所が和解を進めても成立に至ることは少ないでしょう。前述の通り、判決に対する控訴率が高いというのも、医療訴訟は他の訴訟と比べて複雑で白黒をつけるのが難しく、双方とも勝てる可能性があると考えている場合が存することを示していると思われる。ほかに、判決に対する控訴率が高い点については、医療訴訟は人の生命等に関わるものであり、原告（患者側）としては最後まで争いたいという意識が強いことによるのではないかと思います。



シェア 0

0

ツイート

著者プロフィール

おおしま しんいち氏●1984年神戸大学法学部卒、司法修習生（38期）。京都地裁判事、大阪高裁判事、神戸大学法科大学院教授、大阪地裁判事などを経て、2017年徳島地家裁所長、2018年奈良地家裁所長、2020年2月より現職。大阪地裁では医療訴訟を扱う医事部の総括を務めた。『Q&A医療訴訟』（判例タイムズ社）などの著書がある。



連載の紹介

裁判官が語る医療訴訟の実像

医療訴訟が提起されたらどのようなプロセスを経て和解や判決に至るのか、個々の裁判に影響を与えるリーディング・ケース（重要判例）とは――。大阪地裁で医療訴訟を専門に取り扱った経験を持つ著者が、これまでの経験を踏まえ、医療訴訟の実像を分かりやすく紹介します。

フォロー中

忙しい先生の代わりに開業に必要なアレコレ集めました
『日経メディカル開業サポート』オープン！